

産業の実績、評価の確立を図ることが必要である。また、事業環境整備については、公的研究機関との連携や安全性審査に係る体制整備等、必要な関係省庁間の施策調整を実施するとともに、官民の役割整理やビジネスモデルの検討等、事業化に係る諸課題の検討を行うことが必要である。

Ⅲ. 技術マップ及びロードマップ

(1) 技術マップ

航空機分野における技術は、材料・構造、空力等の要素技術及び各要素技術をすり合わせ1つのシステムに統合する全機開発技術の2つに大別される。また、要素技術については、1) 材料・構造、2) 空力、3) 装備品(システム)、4) エンジン要素技術の4分野に、全機開発技術については、1) 全機インテグレーション技術、2) 設計・生産技術の2分野に分類できる。

以上より、技術マップの作成にあたっては、航空機分野の技術課題を

- ①全機開発技術－1) 全機インテグレーション技術、2) 設計・生産技術
 - ②要素技術－1) 材料・構造、2) 空力、3) 装備品(システム)、4) エンジン要素技術
- に分類して整理する。

(2) 重要技術の考え方

①全機開発技術

我が国が市場動向に対応しつつ主体的に事業活動を展開することを可能とするために必要な全機開発技術。具体例としては、以下のとおり。

- ・機体、エンジンの全機インテグレーション技術 等

②中核的要素技術

今後の航空機に求められる安全性向上、低コスト化、環境負荷低減に大きく寄与し、将来の我が国主導の航空機開発や国際共同開発への主体的参画においてバーゲニングパワーとなり得る技術。具体例としては、以下のとおり。

- ・環境負荷低減に資する技術 : エンジンに係る騒音低減技術やクリーン燃焼技術、超音速機に係る低騒音化技術 等
- ・低コスト化に資する技術 : 複合材成形技術、構造シンプル化技術、離着陸高揚力・低抵抗化技術 等
- ・安全性向上等に資する技術 : 健全性診断技術、コックピット表示技術 等

以上の考え方により選定された重要技術は、技術マップ中に色分けして表示する。なお、超音速機開発については、材料・構造、空力、エンジン要素技術等において極めて高度な要素技術が要求されるため、必要となる個別の技術について整理する。

(3) ロードマップ

技術マップの各技術のうち、選定された重要技術について、今後15年程度の具体的展開を時間軸に沿って整理したロードマップを作成した。

なお、ロードマップ、導入シナリオに沿った取組みが行われた場合に実現する製品の例を別添に示す。